

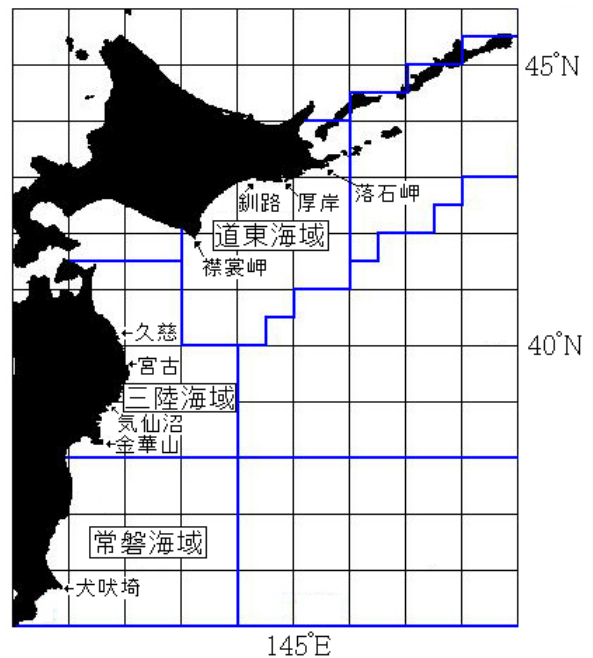
## 平成23年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2011年11月下旬～12月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、来遊量は減少し、11月下旬は低位水準となり終漁となる。
- ・三陸海域では、来遊量は減少し、11月下旬は中位水準、12月上旬は低位水準となり終漁となる。
- ・常磐海域では、来遊量は増加し、11月下旬は中位水準となる。  
(但し震災の影響により操業が行われるか不明である)



海域の名称

### 問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成23年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2011年11月下旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は減少し、11月下旬には低位水準となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

11月下旬には、襟裳岬沖に漁場が残る。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

来遊量は減少し、11月下旬には中位水準、12月上旬には低位水準となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

11月下旬には、北部～南部にかけて漁場が形成される。12月上旬には、三陸北部の漁場が消滅し、南部に漁場が残る。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、11月下旬～12月上旬には中位水準となる。12月中旬から減少し、低位水準となる。

#### (2) 漁場

現在、業界の自主規制により、東京電力福島第一原子力発電所から半径100km圏内を操業禁止としている。宮城福島県境以南の半径100km圏外は事前検査の結果、業界が操業可能かを判断することとしており、現在、操業自粛としている。

## 2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向	低位減少			
	漁 場	襟裳岬沖			
三陸海域	来遊量				
	動向	中位減少	低位減少		
	漁 場	北部～南部	南部		
常磐海域	来遊量				
	動向	中位増加	中位水準	低位減少	低位減少

### 3. 漁況の経過概要（11月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、10月下旬よりやや増加し、前年を上回る中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、11月上旬後半に来遊量はやや増加した。

##### (2) 漁場

落石岬南～襟裳岬南沖に漁場ができた。落石岬南～厚岸南沖の30～70海里付近（表面水温：11～13℃）では、小型船が多数操業した。また1日～2日夜と10日夜には、大型船が数隻操業した。大型船は数～80トン、平均34トン、小型船は5～25トン漁獲された。

落石岬南南東～厚岸南沖の100～160海里付近（表面水温：11～14℃）では、連日大型船が数～30隻程度操業した。大型船は数～100トン以上、平均63トン漁獲された。

襟裳岬南東60海里～南80海里付近（表面水温：11～14℃）では、5日夜までと9日夜に大型船が数～25隻程度操業した。数～100トン以上、平均45トン漁獲された。

##### (3) 魚体

30cmモードの大型魚主体であり、体重は130gが主体であった。また26～27cmモードの中型魚や22～23cmモードの小型魚がやや多く混じる時もあった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、10月下旬より増加したが、前年を下回る低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

##### (2) 漁場

久慈東北東～釜石東沖に漁場ができた。久慈東北東沖の50海里付近（表面水温：12～14℃）では、1日夜と9日夜に大型船が数隻操業した。20～80トン、平均50トン漁獲された。

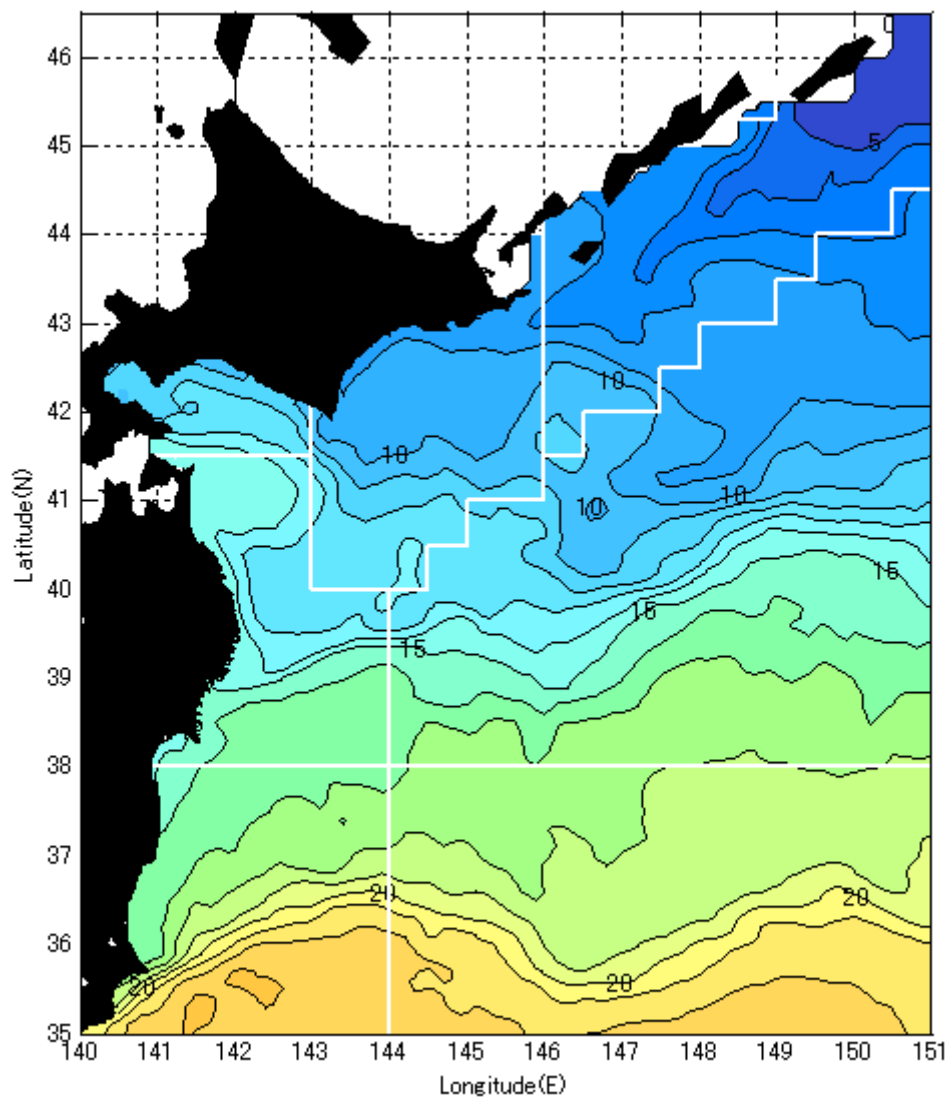
宮古東北東80海里～釜石東50海里付近（表面水温：12～14℃）では、4日夜以降、大型船が数～30隻程度操業した。数～100トン以上、平均28トン漁獲された。

##### (3) 魚体

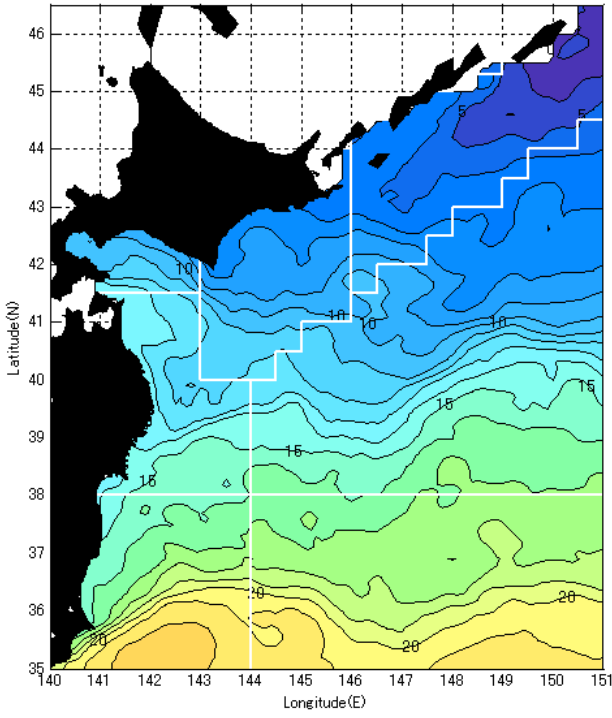
30cmモードの大型魚主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

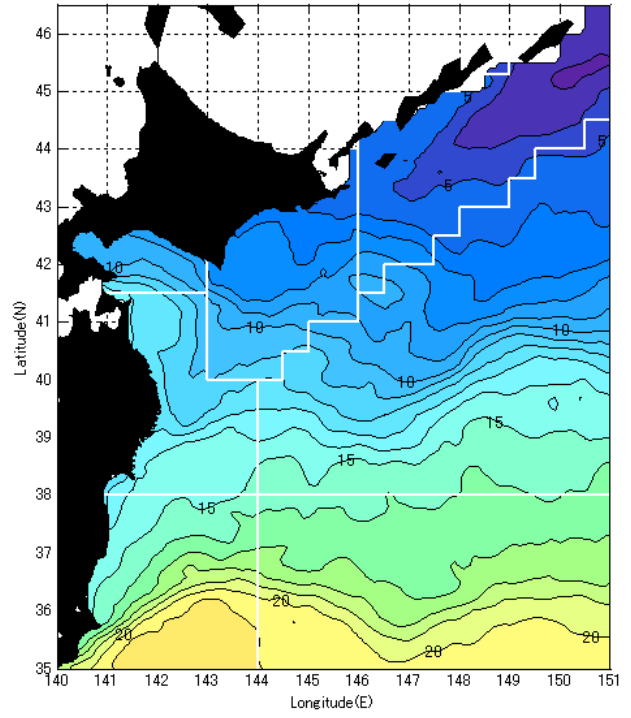
11月下旬予測表面水温分布図



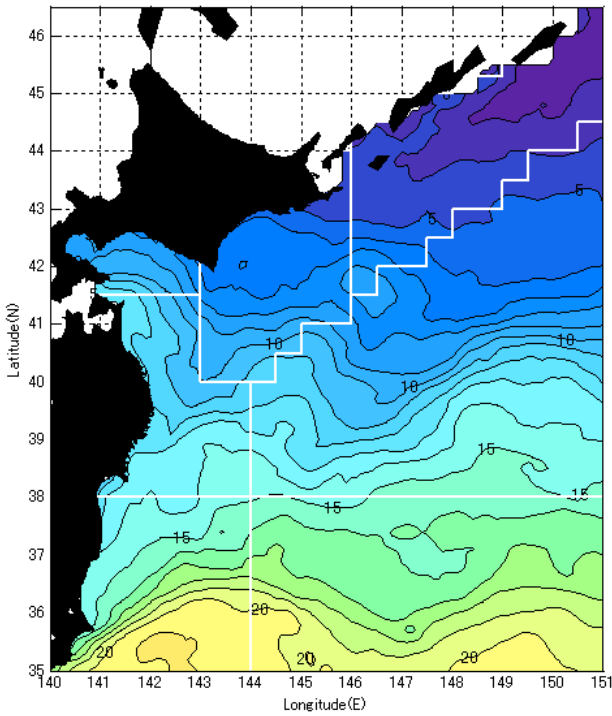
12月上旬予測表面水温分布図



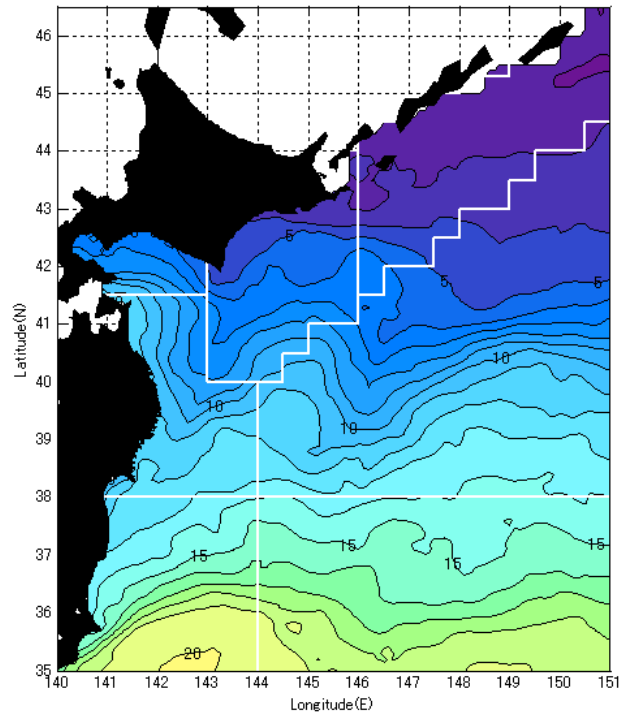
12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--